

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年1月23日

上場会社名 N B C 株式会社
(URL <http://www.nbc-jp.com>)

(コード番号:3534 東証第二部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 石塚 昭夫 (TEL 042(582)2411)
責任者役職・氏名 取締役総括スタッフ部長 阿部 仁

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結年度における : 無
認識の方法との相違の有無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

連結(新規) - 社 (除外) - 社 持分法(新規) 1社 (除外) - 社
持分法非適用会社でありました THAINAK INDUSTRIES CO.,LTD.は、重要性が増した為持分法適用会社としております。

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況 (平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	8,332	0.4	1,310	1.6
15年3月期第3四半期	8,299	-	1,289	-
(参考)15年3月期	10,950		1,697	

(注)売上高、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当社の得意先関連業界におきましては、国内のプリント基板業界における片面基板生産は前年を大きく下回っております。一方自動車部品業界では四輪車の国内生産は前年並みで推移しているものの、海外完成車メーカーへの拡販が進んでいることもあり、好調に推移しております。

このような事業環境の下で、当社グループは、海外市場への積極的な展開、国内市場の販売力強化、付加価値製品の販売促進、生産・購買部門におけるコスト削減に努めてまいりました。

スクリーン印刷用資材では中国を中心とするアジアは順調に推移いたしましたが、国内は横ばい、消費の低迷などによる北米での売上減少により減収となりました。

産業用資材は、携帯電話用など高付加価値製品の寄与により増収となりました。

化成品においては、数量は増加したものの、価格下落の影響により前年並みで推移いたしました。

利益につきましては、高精細メッシュの増加など高付加価値製品の販売増加はありましたが、東証上場関連費用の計上もあり、微増にとどまりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません

3. 平成16年3月期の連結業績予想 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	11,300	1,770	1,040	113 86

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は当初予想通りほぼ順調に推移しており、業績予想の変更はありません。

(注)上記の予想は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値等を確約したり、保証するものではありません。